

共産党は「建設的野党」としてがんばります

砂田市議はこれを受けて、「私も同感だ」と一般質問でのべ、議場からどよめきが起きました。日本共産党は鳩山政権に対し、よいことには積極的に応援する、悪いことには徹底してたたかうという「建設的野党」としてがんばります。

桜井市長 今回の政権交代は、単に自民政権の歴史的大敗にとどまらず、近代日本が大きな転換点にあることを示す出来事だ。小泉元首相が進めた構造改革による格差拡大、とりわけ農山村の荒廃は非常に深刻だ。自民党が進めた新自由主義的経済政策は、「大企業にお金がまわれば、下にもまわっていく」との考えだったが、実際には地方にはまわらず、格差だけが広がったのが否めない事実だろう。

桜井市長 「政権交代は近代日本の大転換点」「構造改革・新自由主義で格差だけ広がった」

総選挙後の9月議会で、政友会代表の質問に答えた桜井市長の次の答弁が注目されました。

政権交代を市民要求の実現に生かそう

砂田市議 「社会保障・教育充実に、チャンスを活かせ」

砂田市議は、自民政権の退場によって生まれたチャンスを、



一般質問する砂田市議
=9月14日(ケーブルTVより)

明るい小矢部
No.166
2009年11月号

発行
日本共産党
小矢部市委員会
小矢部市七社 245
砂田喜昭
TEL 67-4322
FAX 67-4842

9月議会
報告

国民健康保険の改善を

砂田市議 国民健康保険税が高い。世帯所得200万円、40歳代夫婦で未成年の子二人の4人家族で、市の国保税は31万7600円。国民年金保険料35万4000円を合わせて66万8000円、年間所得の3分の1が社会保険料として徴収される。残り1333

国保引き下げを

砂田市議 生活が困窮し医療費が払えない事態が増えている。病気になるたびに医療機関に支払う一部負担金の減免制度の充実を求めたい。

民生部長 国では今年度、国民健康保険の一部負担金減免のモデル事業を実施しており、この中で財源のあり方を含め、2010年度には何らかの指針が示される。これらの結果を注視しながら、減免の具体的な範囲などについて調査を進めたい。

窓口負担金の減免制度を

石動小学校にペレットストーブ
市は9月補正予算で、石動小学校にペレットストーブを入れることを盛り込みました。砂田市議が3月議会で「公共施設への導入で普及をと求めています」。

市民要求実現に活かそうと、①後期高齢者医療制度の廃止、②障害者自立支援法の応益負担の廃止、③高校授業料の無償化と返済不要の奨学金制度の実現、④全国いっせい学力テストの中止と少人数学級の実現、⑤日米FTA交渉をさせないことについて、見解をいただきました。

しかし、市は「国の対応を見守りたい」「情報収集に努めたい」という答弁に終始しました。

新型インフルエンザ対策を

砂田市議は市の新型インフルエンザ対策について「いち早く市民に情報公開し、学童保育や保育所の休業など早期に対応し、感染拡大を防いできた」と評価したうえで、「よりいっそうの対策をと質問しました」。

発症時の対応
重症患者の受け入れ体制

砂田市議 発症時の対応と、重症化した患者の受け入れ体制、特に北陸中央病院での体制は？。厚生労働省はすべての医療機関で受け入れ体制を整えるよう求め、人工呼吸器や簡易陰圧装置などの設備を整備する医療機関に費用の半分を補助するとのことであり、市内の各医療機関へ推奨すべきではないか。

総務部長 発熱等の症状が見られた場合、すぐに医療機関へ受診していただきたい。軽症者は1週間程度の自宅療養。重症者は入院。

北陸中央病院では病室の分離をはじめ、重症者の受け入れ体制を整えている。

医療施設整備に対する補助金の推奨については県から医師会へ周知される。

国保減免
すでに4件適用
市は、砂田市議が6月議会で提案していた生活困窮者の国民健康保険税を減免する要綱を改善しました。10月下旬の時点で4件の減免を適用、市制施行以来初のことです。

小矢部市の減免基準は、生活困窮の度合いに応じて救済するもので、3カ月の平均収入額が生活保護基準生活費の1.2倍以下になった場合に、対象になります。相談窓口は市税務課、社会福祉課です。

子ども、妊婦などを対象にワクチン接種費用の公費負担を
砂田市議 今後、予防のカナメになるのが、ワクチン接種。2回のワクチン接種に6千円から8千円の費用がかかる。日本小児科学会などが無料化を要望している。低所得者が排除されることのないよう、子どもや妊婦などを対象に公費負担を導入する考えはないか。

民生部長 国、県、近隣市の動向を踏まえて検討したい。しかし、低所得者への負担軽減措置が国で現在検討されているので、国の方針が決定したい対応したい。

この秋、カナダへ旅行した。娘婿の両親の病気が見舞いも兼ねていた。病院の入り口では院内感染防止のため来訪者が必ず消毒液で手を消毒していた。新型インフルが流行するずっと前からの習慣のようだ。カナダでは医療費が無料だが、医者を選べないようだ。救急車で行くのは別だが、普段はかかりつけ医の紹介がないと病院に行けない。手術が必要と診断されても、医師不足で、何ヶ月も順番待ちとのこと。有能な医師は、もうけの多いアメリカへ渡る人が多いのだとか。娘から聞いた限りの話だが、カナダで、この医師不足解決が政治課題となっている様子がみられない。日本だと後期高齢者医療制度の廃止や子ども医療費無料化が争点となり、署名運動にも取り組んで庶民の間でも関心が高い。カナダでは政治の争点にならないのだろうか。そのカナダで、日本の総選挙結果が、トップニュースで報じられたそうだ。▼入院中の娘婿の父から「鳩山をどう評価しているかね」と問われて、私は「まだわからない」と曖昧に答え、「それでもこれから変わる可能性もあるだろう」と付け加えた。外国の庶民にも、日本の政変が大きな衝撃をもって受け止められていることは、認識できた。▼さて日本で私たちはどうするか。鳩山政権が何かよいことをしてくれないかと、ただの傍観者ではいられない。これからはもういっそう、国民要求を掲げて運動し、実現を迫っていこう。消費税や庶民増税、米軍基地撤去でも、財界言いなり、日米軍事同盟絶対の古い自民党的政治を変えるためにがんばらねば。